

20. 卒業生・修了生への支援活動

1) 再就職や進学・就職・国家試験への支援

看護学部では、在学生に対して、就職・進学・国家試験への支援を行い、3 年生からは重点目標を設定して取り組んでいる。卒業生に対しても、在学中の学年担当教員と看護研究指導教員を中心に、キャリアアップ支援を継続している。

令和 2 年度は、例年開催している高知女子大学看護学会や高知県立大学看護学部同窓会がコロナ禍の影響で開催できず、卒業生や修了生と対面での積極的な交流は叶わなかった。学部や大学院でおこなった看護研究の成果については、学会発表や誌上发表できるように卒業・修了前から支援を継続した。さらに、キャリアアップのための新たな就職や進学の相談に対しても、メールだけでなくオンラインを活用し支援した。日常的には、就職した施設において、在学生が実習する機会を捉えて卒業生の相談に応じた。国家試験についても、卒業生が受験の必要がある場合は、各種受験手続きの支援、模擬試験受験の支援、学習意欲継続への支援を行った。さらにそれぞれの専門領域の教員が、卒業後 5 年前後の人を対象にして、大学院進学への相談を実施したり、大学で実施している教育研究活動・地域貢献活動・ケア検討会への参加を促進して、卒業生のキャリアアップ支援を行った。

2) 高知県内の卒業生に対するキャリア支援

高知県内の卒業生に対するキャリア支援に関しては、年間目標に基づき、①文献の配布、②図書紹介、③キャリア・進学相談の活動を行った。例年は、学内での技術練習を行っていたが、COVID-19 感染拡大の防止に伴い、実施しなかった。

2020 年 3 月卒業の新たな登録者は、県内就職者を中心に 28 名であった。

③のキャリア・進学相談を 9 月半ばから告知し、SNS、電話で相談を受け付けた。大学院等キャリア支援相談に関しては、延べ 10 件の相談があった。その中で 2 名は本学大学院を受験した。また、本年度の特徴として、首都圏に就職していた卒業生が、地元に戻ることに伴って相談を新たに受けた。延べ、12 件の相談があり、必要時は関係する教員と連携するようにした。

近年の傾向として、大学院進学等の将来のキャリア支援に関するニーズが高まる状況にあり、来年度以降も継続して活動を行う。また、登録者を増やすためにも卒業式前後に集中して活動の告知と募集を行って行くよう計画している。

3) CNS・認定看護管理者認定等の支援

看護学研究科博士前期課程では、平成 12 年 3 月に 1 期生が修了して以来、専門看護師の認定試験に向けて支援を行っている。大学院修了前に主指導教員は、大学院生の背景や個性を尊重し、修了後の資格認定までの計画を学生とともに立案している。修了後は、その計画に沿って定期的に事例検討会や勉強会の開催、コンサルテーション、大学院の特別講義の連絡や講師依頼、共同研究、先輩 CNS の紹介などを行い、CNS 認定及び認定更新への支援をしている。

令和元年までに専門看護師コースを修了し、認定試験に合格した専門看護師は、9 領域 120 名であり、研究コース、実践リーダーコースにおいては修了後、25 名が認定看護管理者の資格を得て、活躍している。令和 2 年度は、がん看護 CNS1 名、小児看護 CNS2 名、家族支援 CNS1 名、急性・重症患者看護 CNS2 名計 6 名の修了生が CNS 認定試験に合格し高度実践看護師として活動している(表 1)。また、認定看護管理者の認定試験には 2 名が合格した。

表1 修了生の専門看護師・認定看護管理者認定数

領域	がん看護	慢性疾患看護	急性・重症患者看護	小児看護	精神看護	家族看護	地域看護	在宅看護	老人看護	看護管理	合計
令和2年度	1		2	2		1				2	6
総計	40	3	4	23	20	16	2	10	3	25	CNS:120名 認定看護管理者:25名

4) 看護学部同窓会活動

2020年度、看護学部同窓会役員一覧は、表2の通りである。

表2 2020年度同窓会役員

役員名	氏名	卒業・修了期	所属
会長	梶原和歌	10期生	近森病院 顧問
副会長	藤田佐和※1	28期生	高知県立大学看護学部長
	中野綾美	27期生	高知県立大学看護学部
書記	田鍋雅子	38期生・修士13期生・博士18期生	高知医療センター看護局
	山中福子	修士7期生	高知県立大学看護学部
会計	川上理子	35期生・博士9期生	高知県立大学看護学部
	西内舞里	46期生・修士12期	高知県立大学看護学部
会計監査	野田真由美	34期生	高知市保健所
	矢野智恵	38期生・修士1期生・博士17期生	高知学園短期大学
庶務	角谷広子	25期生,修士5期生	芸西病院看護部
	池添志乃	34期生,修士2期生,博士1期生	高知県立大学看護学部
	川本美香※2	修士13期生・博士18期生	高知県立大学看護学部

但し、※1：看護学部長、※2：看護学会役員は当て職である

(1) 2020年度の活動

- | | |
|----------------------|------------------|
| ①第10回同窓会総会の開催 | ②役員会の開催 |
| ③講演会（高知女子大学看護学会との共催） | ④会報（第21・第22号）の発行 |
| ⑤高知女子大学看護学会への支援 | ⑥学生及び同窓生生活動への支援 |
| ⑦緊急奨学金貸与 | ⑧給付型特別奨学金 |

(2) 活動の実際

- ① 第10回同窓会総会の開催

COVID-19感染拡大防止と会員皆様の健康と安全面への配慮から、令和2年度の同窓会総会の対面での開催を中止し、文書（議決権）送付による総会とし、議案賛否のお返事をいただく形とした。議事として、(1)令和元年度活動報告、(2)令和元年度決算報告、(3)令和元年度会計監

査報告があった。また、審議事項として、(1)令和2年度活動計画案、(2)令和2年度予算案、(3)令和2年度同窓会役員について審議し、承認された。

② 役員会の開催

役員会は、4回開催した。第1回役員会は7月にメール開催し、本年度の活動、会報、総会および懇親会の企画、学部生の緊急奨学金貸与等について審議し、役割別年間スケジュールが確認された。同窓会総会、懇親会、同窓会報第21号について審議された。第2回、第3回役員会は12月11日、12月21日にオンラインで行い、給付型特別奨学金申請に関して審議された。第4回役員会は2020年1月6日にオンラインで開催され、同窓会報第22号、2020年度活動案、給付型特別奨学金申請等について審議された。

③ 講演会の開催（高知女子大学看護学会との共催）

講演会は、7月開催予定であった高知女子大学看護学会が中止となり、開催されなかった。

④ 会報の発行：2020年度は、第21号と第22号の2回の会報を発刊した。

a. 第21号の発行

第21号は、第10回総会の報告に合わせて令和2年10月26日に発行した。本号では、令和2年度同窓会総会報告、同窓会役員紹介、令和元年度活動・会計報告・令和2年度予算案、第45回高知女子大学看護学会報告、6月27日に開催された、第25回日本在宅ケア学会学術集会（学術集会長：高知県立大学看護学部教授 森下安子）報告、COVID-19予防対策への取り組み等を掲載した。

b. 第22号の発行

会報第22号は2021年3月に発行した。本号では、COVID-19感染拡大の中で懸命に取り組まれている卒業生による報告、メッセージで構成した。

卒業生が活躍している所属機関を紹介する記事では、駒木野病院、土佐市で活躍している卒業生から、さらに幅広い領域で活躍する修了生では、ハストロ氏（DNGL期生）、高樽由美氏（修士期生）、さらに、全国で活躍する卒業生・修了生では、66期生の山口央人氏、山崎早恵氏、中森未空氏、野里姫佳氏の卒後1年目の同窓会員にメッセージをいただいた。

⑤ 高知女子大学看護学会との共催

平成25年度より、高知女子大学看護学会へ毎年資金支援を行っており、令和2年度は、30万円の支援であった。同窓会発足当時より、高知女子大学看護学会との共催で講演会を開催しており、今後も、両者の連携を図りながら、学術の進化、ネットワークの拡大に努めていく方針である。

⑥ 学生及び同窓生活動への支援

卒業生、修了生が学会長として開催した第25回日本在宅ケア学会学術集会への支援を行った。

⑦ 緊急奨学金貸与

2020年度の緊急奨学金貸与の申請はなかった。

⑧ 給付型特別奨学金

看護学部生からの申請に基づき、役員会での審議のうえ4名の学生へ給付支援を行った。